

## 審査結果報告書

平成 30 年 9 月 3 日

主 査 氏 名 佐藤之俊 

副 査 氏 名 鈴木隆浩 

副 査 氏 名 猶木克彦 

副 査 氏 名 細田 桂 

1. 申請者氏名 : 岡本 旅人

2. 論文テーマ : A Retrospective Study of Treatment for Curative  
Synchronous Double Primary Cancers of the Head and Neck  
and the Esophagus  
(頭頸部癌と食道癌の同時性重複癌に対する治療に関する  
後方視的検討)

### 3. 論文審査結果 :

頭頸部癌と食道癌は高頻度に重複する。しかし、両者の同時性重複癌（以下 CSC-HE）における治療戦略は未だ確立されていない。このような CSC-HE に対する治療を検討するために、当院での本症に対する臨床経過と治療成績を後視的に検討したのが本学位論文の内容である。

本研究では5年間における CSC-HE 治療例 33 例が検討された。これらの組織学的深達度、病期、治療方法（TPF 導入化学療法を含む）、有害事象、治療効果ならびに予後の検討から、全体の2年生存率は 67.4%であり、頭頸部癌、食道癌ともに進行癌であった 20 例の2年生存率は 62.6%であった。なお、10 例は内視鏡的切除可能病変を有しており、その2年生存率は 100%だった。このことから、当院における CSC-HE の治療成績は良好であり、頭頸部癌、食道癌ともに進行癌を伴う CSC-HE の場合は、導入化学療法として TPF 療法を実施する治療戦略は選択肢の一つとなり得ることを示した有意義な研究であった。

本研究に関する質疑応答では、発がんに関する考察、対象群における導入化学療法を含めた治療のコンセプト、CSC-HE に対する今後の治療展望などについて多くの質問がなされ、申請者はこれらの質問に適切に回答した。以上より、本研究は博士課程の学位論文に相応しいものであると考えられ、博士号を授与するに十分値すると判定された。